

令和4年2月期 業務実績報告書（経営総務課）

一 般 事 項

1 水道料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,086	334,278	333,200	334,194	1,078	84
2 調定水量	m ³	612,774	7,068,572	6,964,000	7,172,731	104,572	△ 104,159
3 調定料金(税抜)	円	165,215,706	1,894,882,982	1,882,000,000	1,920,276,735	12,882,982	△ 25,393,753
4 口振加入件数	件	24,831	275,701	-	275,950	-	△ 249

2 下水道使用料調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	18,649	204,863	200,490	201,789	4,373	3,074
6 調定水量	m ³	382,220	4,323,023	4,203,900	4,331,250	119,123	△ 8,227
7 調定料金(税抜)	円	60,897,226	684,377,507	662,840,000	682,974,540	21,537,507	1,402,967

3 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	76,618	-	77,425	△ 807
9 給水件数	件	29,991	-	30,023	△ 32
10 開栓処理件数	件	170	2,452	2,489	△ 37
11 閉栓処理件数	件	150	2,630	2,609	21
12 給水工事設計審査	件	30	511	579	△ 68
13 給水工事竣工検査	件	57	581	765	△ 184
14 経年メーター交換	件	3	3,204	3,419	△ 215
15 メーター口径変更	件	8	69	54	15
16 督促状発送数	件	1,274	14,592	14,613	△ 21
17 月末停止件数	件	85	-	117	△ 32

4 排水設備業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	25	324	309	15
19 排水設備工事完了検査	件	29	301	336	△ 35

5 水道料金徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
20 当年度分	195,204,257円	90.63%	206,870,173円	90.22%
21 過年度分	3,762,399円	98.05%	4,242,937円	97.78%
22 計	198,966,656円	-	211,113,110円	-

6 下水道使用料徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
23 当年度分	79,316,417円	89.46%	81,204,736円	89.20%
24 過年度分	615,587円	99.22%	759,056円	99.01%
25 計	79,932,004円	-	81,963,792円	-

7 受益者分(負)担金徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
26 当年度分	901,400円	97.40%	1,497,700円	96.53%
27 過年度分	2,291,100円	14.16%	2,343,000円	29.05%
28 計	3,192,500円	-	3,840,700円	-

特 記 事 項

1. 2月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

・上水道事業

ア 収益的収支

当期の給水収益は181,529千円(税込)で、前月期に比べて8,502千円の減、対前年同月比では10,038千円の減となっています。営業収益は181,922千円、営業外収益は事務手数料など5,002千円となりました。当期の営業費用は委託料や修繕費など88,200千円、営業外費用は、企業債利息として26,378千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、加入金等262千円の執行となりました。支出は、建設改良費として工事請負費や職員給与費などを含む事務費71,334千円、企業債返還金として159,820千円を執行しました。

・下水道事業

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は66,987千円(税込)で、前月期に比べて2,513千円の減、対前年同月比では1,636千円の減となっています。営業収益は67,531千円、営業外収益は、涌谷町生栄巻地区農業集落排水事業の維持管理費等の負担金など1,651千円、特別利益は179千円となりました。

当期の営業費用は職員給与費や委託料など72,849千円、営業外費用は企業債利息など37,122千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、企業債及び国庫補助金として126,000千円の執行となりました。支出は、建設改良費として17,183千円、企業債償還金として306,351千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 登米市議会定例会2月定期議会について

2月3日(木)に令和4年登米市議会定例会2月定期議会が開会しました。上下水道部では「令和4年度登米市水道事業会計予算」など4件を提案しました。

一般質問では保呂羽浄水場再構築事業に対する一般会計からの繰出金の考え方など2件のご質問をいただき、現時点において再構築事業においては繰出金は予定されていないが、施設の統廃合など経営の合理化に努めていくなどの答弁させていただきました。

(2) 安全運転者研修会を開催しました

2月9日(水)に安全運転者研修会を開催しました。この研修会は、上下水道部安全衛生委員会主催で安全運転を啓発することを目的として、毎年開催しているもので、職員35名が受講しました。登米警察署の佐々木交通課長を講師に迎え、現在取り組まれている夕暮れ時の交通事故防止「ラ・ラ・ラ」運動※1や冬道の交通運動1・2・3運動※2など各種交通事故防止について講話を頂きました。また、今年は人身事故の発生は少ないが、物損事故が昨年度より5%程度増えているのの十分注意してほしいとの、お話をいただきました。



【安全運転者研修会の様子】

※1「ラ・ラ・ラ」運動

- 「ライト・オン」 … 早めのライト点灯
- 「ライト・アップ」 … 目立つ装備・服装
- 「ライト・ケアフル」 … 右側注意

※2冬道の交通安全1・2・3運動

- 1割のスピードダウン
- 2倍の車間距離
- 3分早めの出発

令和4年2月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	747,705	9,073,160	8,520,550	9,079,905	552,610	△ 6,745
総配水量	702,318	8,479,614	7,933,480	8,448,852	546,134	30,762
1 有効水量	662,634	7,577,921	7,517,600	7,814,568	60,321	△ 236,647
(1) 有収水量	616,234	7,117,526	7,012,400	7,224,467	105,126	△ 106,941
(2) 無収水量	46,400	460,395	505,200	590,101	△ 44,805	△ 129,706
2 無効水量	39,684	901,693	415,880	634,284	485,813	267,409
(1) 漏水量	38,657	896,581	409,000	626,762	487,581	269,819
(2) その他無効水量	1,027	5,112	6,880	7,522	△ 1,768	△ 2,410
3 有収率	87.74%	83.94%	88.39%	85.51%	-4.45%	-1.57%

※ 当月期の最大配水量は、8日(火)に記録した【25,903m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
取水施設整備事業	2	20,460	1	19,626	0	0	834	95.9%
浄水施設整備事業	6	57,420	3	42,167	2	5,346	9,907	82.7%
配給水施設整備事業	54	1,164,918	30	710,801	20	200,126	253,991	78.2%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

特記事項

1 本宮配水池のデータ通信装置が本設に

2月3日(木)ケーブル断線のため仮設していたテレモット(データ通信装置)を本設する作業を行いました。

テレモットと直接水位計に接続することで元のとおり水位の詳細まで、保呂羽浄水場にデータ送信できるものとなりました。

今後もこれらのデータを水量管理、運用に役立てます。



【テレモット設置状況】

2 石越浄水場沈殿池清掃の実施について

2月9日(水)から16日(水)まで、石越1系沈殿池と2系沈殿池において、内部の清掃作業を実施しました。

この作業は、汚泥が過剰に堆積すると沈殿効果の阻害や傾斜版の損傷が懸念されることから、定期的な清掃を実施するものです。

また、そのほかに内面の可動部の状況の確認と調整も併せて行いました。



【沈殿池内清掃作業実施状況】

◎ 漏水調査結果について

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m³/h)
	配水管	57	76.827
付属施設	0	0.000	
給水装置	85	72.058	
計	142	148.885	

【漏水調査結果：2月】

※参考：漏水量削減効果(金額換算)
約982,677円/日当たり
算定：R2年度給水原価 275.01円
累計漏水量 148.885m³/h
148.885m³/h×24h×275.01円

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D) 対前年度 (B)-(C)	備考
特定環境保全公共下水道	48,122	601,172	602,908	△ 1,736	3処理場
米谷・錦織処理区	10,119	129,034	135,535	△ 6,501	
豊里処理区	28,128	341,629	331,171	10,458	
津山処理区	9,875	130,509	136,202	△ 5,693	
流域関連特定環境保全公共下水道(石越)	11,933	140,271	143,322	△ 3,051	
農業集落排水	90,747	1,231,684	1,241,256	△ 9,572	24処理場
迫地区	8,406	107,987	99,057	8,930	
東和地区	2,640	33,412	33,319	93	
中田地区	24,650	337,673	336,322	1,351	※水量訂正
豊里地区	1,644	21,658	22,580	△ 922	
米山地区	36,128	512,424	531,309	△ 18,885	※水量訂正
南方地区	17,278	218,530	218,669	△ 139	R3.4.1時点
浄化槽(特排・個排)	40,215	459,588	446,431	13,157	1,934基
合計	435,625	5,365,096	5,315,447	49,649	

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

※農集排の中田・米山地区における水量の訂正は、石森・新小路・桜岡第二地区の流量計の故障によるもの。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	16	529,918	13	375,209	0	64,234	90,475	82.9%
ポンプ施設整備事業	1	16,390	1	15,950	0	0	440	97.3%
処理施設整備事業	93	400,044	19	244,190	69	96,264	59,590	85.1%

※金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計を記載。件数には合冊契約している箇所数を含む。

※浄化槽整備事業の受付は、予定件数の80件となり12月末で終了しました。(受付件数の実績：86件)

特記事項

1 マンホールの段差解消作業の実施

令和4年2月に登米市迫町佐沼地内において、市道内に設置されているマンホールと舗装に段差が確認されたことから、段差解消を目的とした緊急の舗装補修作業を実施しました。

今後も、マンホールなどが通行上の支障とならないよう、随時確認しながら必要に応じて補修作業を実施し、適切な管理を行います。



【復旧作業の状況】

2 汚水管渠築造工事の完了

迫町平柳地区の汚水管渠築造工事が完了しました。この工事は、開削工法及び推進工法による管路(施工延長L=222.35m)、マンホール(N=5基)の整備を行ったもので、令和4年4月1日からの供用開始を予定しています。

管渠埋設後の交通開放は仮復旧の状態であることから、次年度において道路舗装の本復旧を実施する予定です。



【仮設ケージ掘削積込状況】